No. 258

共通テスト ULTIMATE CHEAT SHEET

共通テストリスニングの先読みテクニック

リスニングの得点は放送前の数秒で決まる。選択肢の違いを見抜く目、絵の違いを言葉にする手順、冊子への印、読み上げの間の使い方まで。

Web版はこちら

ここだけ3行

1. 選択肢は共通部分を消し、違う部分だけを見る
2. 絵は2つの軸で分類してから聞く
3. マークした瞬間が、次の問題の先読みの始まり

先読みの目的

先読みは選択肢の内容を覚える作業ではない。**「何が聞こえたら正解が決まるか」を放送前に決めておく作業**だ。だから選択肢を全部和訳する必要はない。違う所に線を引き、聞く的を一言で決めれば十分。

◆ 先読みに使える時間

冊子の注意事項にも「問題文を読むため、または解答をするために音の流れない時間がある」とある

いつ	使い方
各大問の指示文の読み上げ中	同じ内容が冊子に印刷されている。聞かずに次の選択肢へ
2回読みの2回目	1回目で決まったら、確認だけして次の問題の選択肢へ
第4問以降の「読む時間」	表の見出し・条件・ワークシートの空欄・図表を確認
問題と問題の間の無音	マークは数秒で済ませ、残りを次の先読みに

◆ 選択肢の違いの見抜き方 5

☐ **1 共通部分は読まない**

4つの選択肢に共通する語はさっと確認するだけにし、違う部分に線を引く。そこが聞く的になる。

> He will take the bus. / He will take a taxi. / He will walk.
> → 聞く的は「交通手段」だけ

☐ **2 違いの種類で分類**

人(誰が)・時(いつ)・場所・数・動作の段階・肯定か否定か。種類がわかれば、放送のどこに集中するかが決まる。

☐ **3 主語が違えば「誰が」**

The man…／The woman…と主語が分かれていたら、男女どちらの発言・行動かを聞き分ける問題。

☐ **4 否定語だけが違う**

likes／doesn't like のように否定語の有無だけが違う2つがあれば、否定・準否定(never／hardly／no longer)の聞き分けを問う問題。

☐ **5 長い選択肢は動詞と目的語**

1文が長い選択肢は、動詞と目的語を中心に、選択肢ごとに違う否定語・数量・時・場所にも線を引く。

◆ 絵・図・グラフの先読み 4

☐ **1 2つの軸で分類**

「帽子あり・なし」×「座る・立つ」のように2つの違いで4枚を分ける。1つ目の情報で2枚、2つ目で1枚に絞る。

☐ **2 動作の段階を見る**

同じ人の「する前・している途中・した後」が並んでいたら、時制と表現(be about to do／be doing／have just done)が勝負。

☐ **3 地図は現在地と目印**

自分の現在地・向き・目印(駅・橋・角)を確認。左右と何番目かをメモする準備をする。

☐ **4 グラフは軸・単位・凡例**

縦軸と横軸、単位(%か人数か)、凡例を確認。最大・最小と増減の向きを先に言葉にしておく。

◆ 実演:選択肢から「待ち構える語」を決める

違いの種類がわかれば、放送のどの語に反応すればいいかが決まる

選択肢(違う部分)	違いの種類	待ち構える語
call／email／visit the shop	連絡の手段	phone・send a message・drop by などの言い換え
on Monday／Tuesday／Wednesday	曜日	moved to・instead(変更)
has finished／is writing／will start	動作の段階	already・still・yet・about to
The man／The woman wants to…	誰が	男女どちらの発言か
about 20／30／40 percent	数字	a fifth・about a third・two fifths など

◆ 冊子への印(記号の例)

記号は自分で決めて、過去問から本番まで同じものを使う

記号	意味
線を引いた語	聞く的(選択肢の違う部分)
○	合っている・条件を満たす
×	違う・条件を満たさない
△	一部だけ合う・条件つき
↑ ↓	増えた・減った
M／W・名前の頭文字	発言した人
✓	正解の候補(仮)

◆ 1問の先読みルーティン(1回読み) 6

1. **場面の日本語を読む**
   誰と誰が、何について話すかをつかむ。出てくる語を予想する。
2. **問いの疑問詞と主語に丸**
   「男が・次に・何を」のように、問いが求める情報を決める。
3. **選択肢の違いに線**
   共通部分は飛ばし、違う部分だけ。
4. **聞く的を一言で**
   余白に「男・次の行動」のように書く。
5. **聞きながら○×**
   選択肢に直接つける。別の紙に書き写さない。

⑥ **即マーク→次の先読み**
迷っても数秒で決める。次の問題の準備を削らない。

◆ 大問別：先読みで見る所

大問	見る所
第1問A	選択肢の主語・動詞・否定の有無
第1問B	4枚の絵の違い（2つの軸）
第2問	場面の日本語と、絵・図の違い
第3問	場面・問いの英文・選択肢の違い
第4問A	絵の違いと順番の手がかり／表の項目と選択肢
第4問B	条件A〜C と候補の名前。○×の表を準備
第5問	ワークシートの見出し・空欄の前後・図表
第6問	状況・問い・話者の名前・図表の種類

◆ 2回読み（第1・2問）の使い分け 3

☐ **1 1回目：仮決め**
聞く的に集中して答えを仮に決める。決まれば選択肢に✓。

☐ **2 2回目：根拠の確認か、次の先読み**
1回目で決まった問題は、根拠の語を確かめるだけ。目は次の問題の選択肢へ移してよい。

☐ **3 1回目で聞けなかった時**
2回目は聞く的を1つに絞る（例：最後の動詞だけ）。全部を聞き直そうとしない。

メモより先読み
書いている間は耳が止まる。先読みで聞く的が決まっていれば、**メモは記号と数字が基本**。必要なら名前の頭文字や短いキーワードも。○×△と↑↓、名前の頭文字だけで書く練習を過去問でしておく。

◆ 先読みの失敗パターン 5

☐ ~~× 選択肢を全部和訳する~~
○ 違う部分だけに線を引く
時間が足りず、次の問題で崩れる

☐ ~~× 先読みで答えを決めつける~~
○ 決めるのは聞く的まで
予想と違う展開で聞き逃す

☐ ~~× 読み終わる前に放送が始まり慌てる~~
○ すぐ先読みをやめて聞くことに集中
途中まででも聞く的は決まっている

☐ ~~× 選択肢だけ読んで問いを読まない~~
○ 問いの主語と疑問詞を必ず確認
男女どちらか・何についてかを取り違える

☐ ~~× 前の問題を考え続ける~~
○ 仮マークして次の先読みへ
1問の迷いで次の1問も失う

◆ 確認テスト

1 選択肢 She will go by bus／train／car／bike の聞く的は？
a 交通手段　b 行き先　c 同行者　d 出発時刻

2 先読みに使えないのはどれ？
a 第4問以降の読む時間　b 2回読みの2回目
c 試験開始の指示の前　d 指示文の読み上げ中

3 同じ人の「する前・途中・した後」の絵が並んだら勝負は？
a 時制　b 色　c 人数　d 天気

4 先読み中に放送が始まったら？
a 先読みを続ける　b 目を閉じる　c 次の問題に進む
d 聞くことに切り替える

◆ 解答

1 **交通手段** 違う部分だけが聞く的
2 **試験開始の指示の前** 開始の指示まで冊子の中は見られない
3 **時制** be about to do／be doing／have just done
4 **聞くことに切り替える** 聞く的は途中まででも決まっている

参考資料 大学入試センター「令和8年度 本試験の問題」（英語リスニング問題冊子・スクリプト）／原田英語「共通テスト英語リスニング 2027年版 超絶完全マニュアル」

もっと無料で学ぶなら
原田英語.com
究極の英単語帳（PDF印刷）・共テ単 キョウテタン・共通テスト満点チートシート・英文法大全・英作文超絶採点くん・時事英語ナビ…
受験に役立つ無料の英語アプリと、約2,800本の記事。
原田英語.com
ほかのチートシート（全439本・無料）